

# 北社会ニュースオ80号

2012年4月3日

発行者： 鈴木杜夫

(1) 本日開催 第297回 北社会

講師： 立花貴氏 (高40回)

テーマ： “震災後、働き方が変わった”

～日本の新しい漁業、教育、町づくり～

立花氏は1969年4月17日生まれ、二週間後に43才です。本日の講師をお引き受けいただくメールの交換中に私はめったにお会いできないユニークな後輩だと痛感させられました。二高はやっぱり人材が豊富と嬉しく、励まされました。私が最も印象に残った立花氏の“思い”を読んで下さい。大学時代就職活動をする前に考えた人生のビジョンです。 「人生の目標ー人生ビジョン2028年ー」

食、農業、教育、福祉・医療、環境、政治、経済界あらゆる分野において、日本で世界で、志のある多くの人たち、自立した個人が逞しく繋がり活躍しています。

子供の目がキラキラ輝き、大人がワクワク夢に向かって輝いている社会になっています。そして、日本は喜ばれること、感動共有、感謝の気持ちで満ちあふれる、心の豊かな国になっています。そして全世界に波及しています。

お客様に必要とされ、社会に必要とされ、地域に愛され、社員、取引先に必要とされ、収益力のある持続可能な企業を創り上げています。

皆さんは就職活動中、こんな素晴らしいビジョンをお持ちだったでしょうか。私は読ませていただき、びっくりしました。本日の講話を楽しみにしておりました。

(2) 数ヵ月後開催の第300回北社会

昨日、青山史朗大先輩からお便りをいただきました。正月三日、山川民夫先輩とゴルフのため早朝四時に起床、鼻をかんだ途端大量の出血、数日静養、六日朝起き上がれずベットから転げ落ち、近所に住むご長男が助けに来るまで半時間ほど、冷たいフロアに横たわっていた。救急車で慶応病院に搬送され次々と検査の連続、約五時間後、どこも悪くないととの診断でご自宅に戻られたそうです。新年早々大変だったとのことですが今はお元気にお暮らしたそうです。北社会の皆さんにメッセージがございました。

“北社会 第300回 に期待しています。この記念例会だけはぜひ出席させて下さい” とお書きになっておられます。

北社会が開始されたのは昭和50年(1975年)の9月、当時東京ガス会長の安西浩氏が「シベリア油田開発について」を講話されました。37年も前のことです。300回は記念すべき例会と青山先輩がお言葉、胸に響きます。どのような例会がふさわしいか、皆さんアイデアその他を提案いただきたくよろしくお願い致します。